

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 393番
- *交読文 …………… 1番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 107番
- 礼拝のための祈り ……… 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 …………… 396番
- メッセージ …………… どちらの霊を受けるか(エペソ 2:1-7)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 399番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

祭りが最も盛大に祝われる終わりの日に、イエスは立ち上がって大声で言われた。「渴いている_____は、わたしのところに来て飲みなさい。わたしを信じる_____は、聖書に書いてあるとおり、_____の内から生きた水が川となって流れ出るようになる。」イエスは、御自分を信じる_____が受けようとしている“霊”について言われたのである。(ヨハネ 7:37-39)

世をも、世にあるものをも、愛してはなりません。もしだれでも世を愛しているなら、その人のうちに御父を愛する愛はありません。・・・世と世の欲は滅び去ります。しかし、神のみこころを行なう者は、いつまでもながらえます。(1ヨハネ 2:15-17)

私は、きょう、_____に対して天と地とを、証人に立てる。私は、いのちと死、祝福とのろいを、_____の前に置く。_____はいのちを選びなさい。(申命記 30:19)

霊には色々な種類がある。聖書に出てくる霊でも、おくびょうの霊、奴隷の霊、おしとつんぼの霊、病の霊、占いの霊など、色々あるが、それら悪しき霊はサタンをかしらとし、空中に勢力の座を置く「この世の霊」であり、人に入ってはその人に様々な悪しき事を行わせ、災いへと導き、滅びへと向かわせる。それに対し、神の元から遣わされた霊すなわち「聖霊」があり、その霊はイエス・キリストを告白する。聖霊を宿し聖霊に導かれて歩む人は、愛、喜び、平安など、様々な良き実を人生において結ぶ。

主を知らずに生きている生来の人は、元々、世の霊に縛られて生きてきた。彼らは罪の中にあつて、この世の流れ(時代、流行)に従い、空中の権威を持つ支配者に従って歩んでいたが、憐れみ豊かな神は、その大きな愛の故に、罪過の中に死んでいた私たちをキリストとともに生かし、キリスト・イエスにおいて、ともによみがえらせ、ともに天の所に座らせて下さった。(エペソ 2:1-7)

空中、そこには、雑菌のごとく「この世の霊」が漂っており、それらの霊には感情的・意識的な色合いがあつて、類似した色合いの人に宿ろうとする。

たとえば、嫉妬深い人には嫉妬の霊が、病んでいる人には病の霊が付着しやすい。宿主である人は、色合いの似た霊を引き寄せ、その霊はさらに類似した霊を呼び寄せ、そうしてたくさんの霊を抱えてしまう人もいる。(マルコ 5:1-20、マタイ 12:43-45)

それらの霊に罹患しないコツは、風邪の予防と同じで、御言葉の水でうがいをし、イエス様の血によって消毒・殺菌し、イエス様の愛で心暖かくし、世から何か汚れを受けた、と思ったなら、すぐに真の医者であるイエス様の所に行く事であり、イエス様の元に行くなら、いかに多くの悪霊につかかれていても、治癒される。健やかな体なら多少の風邪菌は何とも無いように、イエス様の健全な教えによって、いつも健全さを保っているなら、空中の諸霊も恐れるに足りない。

イエス様を主としている事、それは全ての面における健やかさと祝福の道である。イエス様とサタンは、対等ではなく、権威的上下関係にあり、イエス様は最も上、サタンは遥か下である。この世の霊は、決してイエス様には勝てず、聖霊に支配される人には、悪しき者は触れる事ができない。私達が救われるのはイエスを「主」とする信仰により、それはいわば、自由意思による「主人転換」である。私達の中の王座には、一人の主人しか座る事ができない。生来の人は、その王座に「自分」を据え、自分が人生のハンドルを握って生きていたが、その人達はこの世の霊に縛られ、滅びへと向かっている。しかし、その王座にイエス様に座っていただき、イエス様に人生のハンドルさばきを委ねるなら、すなわち、イエス様を「主」とするなら、もはやサタンも悪霊も、その人に何もできない。サタンの支配からイエス様の支配へ、滅びから救いへ、死からのちへと転換される。貧しさから豊かさへ、病から健やかさへ、嘆きから喜びへ、呪いから祝福へと、人生のあらゆるものが、良きものへと、造り替えられるのである。

主は、人の自由意思を尊重されるお方で、たとえ主にある救いの道が示されたとしても、それを拒否し、不従順に歩む、という事も出来る。しかし、そのような歩みをした人は、前の状態より、もっと悪くなってしまう。サウル王は不従順を続けた結果、聖霊が取り上げられ、悪い霊にさい悩まされた。それでもなお頑なに不従順を続け、自分を王とし続けた結果、とても悲惨な最後を遂げてしまった。

神の目に見えない本性が示され、神の永遠の力と神性が、示されていながら、その神を知ろうとも、あがめようとも、感謝しようとしなければ、神は彼らをその心の欲望のままに汚れへと引き渡し、むなしい思いに、暗い心へと引き渡されてしまうのだ。(ローマ 1:20-32)

しかし、イエス様を慕い、御言葉に従順し、さらに御元に近づこうとする意思のある人には、聖霊が与えられ、その人は御霊によって導かれ、いつも潤い、決して渴く事が無い。

『イエスは立って、大声で言われた。「だれでも渴いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。』これは、イエスを信じる者が後になってから受ける御霊のことを言われたのである。』(ヨハネ 7:37-39)

